

2011.10.1

No.40

発行 町田市印刷工業組合



MACHIDA PRINT INDUSTRY

町田市印刷工業組合

事務局 町田市原町田4-18-16(協英印刷工業(株)内)



発行責任者 田中 健祐



PTA広報誌作成講習会 開催

2011.6.18 於：町田商工会議所

主催：町田市印刷工業組合

後援：町田市教育委員会

協力：町田市公立小学校PTA連絡協議会



PTA広報誌作成講習会を終えて

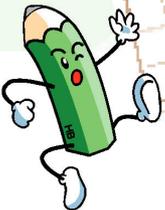
町田市印刷工業組合 組合長 田中 健祐

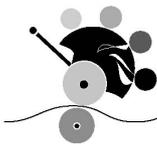
暑い残暑も暫く峠を越し、年末に向けて忙しく動き出してみました。ドジョウ内閣も泥臭くても良いので、少しでも経済が上向きな政策実現に向けて頑張ってもらいたいものです。

組合活動も昨年から準備してまいりました「広報勉強会」、初回ながら一定の成功を収められましたのも町田市教育委員会の後援、町田市公立小学校PTA連絡協議会のご協力、そして組合員の皆様の団結があったからに他ありません。改めて感謝申し上げます。

その後の組合定例会でも話が出たように、一回行っただけでは組合のPRにもなっておりませんし、講習に来てくださった方達にもまだまだ物足りない所もあったと思います。二回・三回と続けていく中で組合の存在価値、個々の会社への利便性・重要性が認識されて初めて成功と言えます。第二回に向けてまだ時間はありますので、引き続きPTA連絡協議会様との情報交換を取りつつ、さらに精錬された講習をするべく、組合員の皆様にも提案していただきたく存じますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

さあ、僕と一緒に
広報誌の作り方を
学びましょう！





PTA広報誌作成講習会 開催

副組長 安倍 正浩

今回「小学校PTA広報誌講習会」を開催しましたが、組合初の試みとしてはいろいろあった中で無事に何とか一つの形を作って終了でき、とりあえずホッとしております。

約1年前から開催に向けて準備してきた我々としては、何よりもまず、当日出席して下さった方々に感謝しなくてはいけないと思います。

15校の小学校、32名の出席者の方々、大変ありがとうございました。

また、協力して頂き多くの相談にのっていただきました町田市公立小学校PTA連絡協議会の方々にも感謝いたします。

大変ありがとうございました。

会場の選定、テキストの作成、町田市教育委員会への後援の取り付けなど、不慣れな仕事も多く「まだまだ俺は青いなあ。」と思うことも…。

まさに「言うは易し、行は難し」の言葉通り「あぁいいですよ。」の一言が新たな苦勞を招いてくれたりして、しばらく俺は黙ってしようと思ったりしてました。

今後ですが、次年度(来年)も開催に向けて準備をしていきます。

「町田市印刷工業組合をまず知ってもらおう」という意味合いの濃かった今回の初開催から、その後の話し合いで次回のハードルは高くなりました。

開催日程等を含めて、より良い講習会になるよう更に準備を進めてまいります。



分科会 (実習)



第1班

函師小学校 小山小学校
忠生第一小学校 鶴川第一小学校
小山田小学校

講師 山本 藤井(紀) 加藤 池田



第2班

町田第二小学校 南第四小学校
町田第三小学校 鶴川第三小学校
南第二小学校

講師 田中 生越 佐藤 細野 和久



第3班

町田第六小学校 南第一小学校
小山が丘小学校 南第三小学校
町田第四小学校

講師 安倍 藤井(陽) 松沢 和田 田辺



講習会終了後のアンケート集計

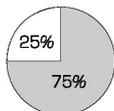
(全29枚/32名)

■ 全体講習会

	1班	2班	3班	全体
大変参考になった	6	9	7	22
参考になった	4	1	2	7
あまり参考にならなかった	0	0	0	0

■ 分科会(実習)

	1班	2班	3班	全体
大変参考になった	7	7	8	22
参考になった	2	4	1	7
あまり参考にならなかった	0	0	0	0



☆3/4以上が「大変参考になった」とのこと。
また「あまり参考にならなかった」との回答はなし。

■ 次回講習に向けて

① 開催時期について

全体的にもう少し早くとの意見が多いようです。

4月後半	1	☆理由はすでに広報誌の作成に取り掛かっている。 発行済みのところが多かったから。
5月くらい	5	
6月	1	

☆早めの開催の場合、市P協は4月の部会なしのようです。3月中に案内を出したほうがよさそうです。

② 内容について

全体的に参考になったとの意見が多かったです。

- *実習の時間を増やして欲しかった
- *パソコンを使って作成する際の注意点が知れたかった
- *各学校の悩みや疑問点を聞く場が欲しい
- *用紙の見本、刷り上がりの見本が見たい
- *効果的な編集の仕方、プロから見た良い例を知りたい
- *それぞれに対応した指導、実習があると良い
- *具体的な指導があって勉強になった
- *前任者らの引き継ぎでも、作成については特に指導がなかったで参考になった
- *広報誌を作る上での進め方のパターンを具体的に数種類あげてもらえると嬉しい

③ その他(参考になったこと)

- *記事・レイアウトの書き方
- *写真の使い方
- *印刷会社とのやり取りの仕方
- *広報委員を立ち上げる際の目安になった

PTA広報誌作成講習会に参加して

町田市公立小学校PTA連絡協議会
(市P協)

代表 齋藤 睦世

今年度、町田市印刷工業組合のご好意により、町田市公立小学校の連絡協議会である市P協(17校加盟)において「PTA広報誌作成講習会」を開催して頂きました。

現在、町田市内の多くの小学校でPTA広報誌を発行していますが、毎年入れ代わる広報委員が限られた時間の中で智慧を絞り合い、試行錯誤しつつ発行しているのが現状です。

そしてプロの視点から「広報誌づくり」のアドバイスを頂けるとのことで、大変有り難い企画でした。

実は、我が校では広報の専門委員会がなく、教職員紹介の他は定期的な広報誌の発行がない状況です。私自身、発行までのプロセスの大変さを考えると、広報誌は出したけれど、その大変さと天秤にかけるだけの意義が今一つ見いだせませんでした。

そんな中で参加した講習会でしたが、今回その答えのヒントを頂いたような気がします。

広報誌は「学校だより」ではなく、子ども達の生活に目を向け《考え・話し合う》ための問題提起の役割もあるのではないかと…ということ。

それはまさに「子ども達の豊かな人間力を育てるため、よりよい教育環境にしていくにはどうしたらよいか」を目的に活動しているPTAの意義と重なるものがあるのではないかと感じたのです。

色々な意味での発信の場であり、情報の供給源であり、活動の認識の共有の場でありえる広報誌の役割に改めて気付かせて頂きました。

今後も各校のニーズにお応え頂ける講習会づくりをして頂ければと望む次第です。





広告掲載企業40社獲得！

スポーツ祭東京2013
町田市実行委員会事務局より受注

株式会社コスモプリント 山本 有司

今年度の組合事業 第2弾となる「スポーツ祭東京2013 町田市実行委員会事務局総会資料・常任委員会資料」の印刷・製本業務が8月に無事終了し、納品することができました。今回の案件は印刷・製本にかかる費用を一般企業様の広告掲載費にてまかなうという業務で、発注から企業広告営業～印刷・製本・納品までが約2週間弱という、大変短い間での作業となりました。

私自身この案件の表紙デザイン及び本文版下作成（データ変換業務）の担当会社として関わりましたが、納品に至るこの短期間での対応を可能にしたのは、組合加盟各社の前向きな姿勢があったからこそ、成功したのだと確信しています。一社での対応は不可能に思われます。

企業広告集めでは、田中組合長・安倍副組合長ほか各組合員が奔走し、版下作成では、弊社も協力させていただき、また、印刷・製本では藤井社長・田辺社長のスピーディーで高品質な製品が仕上がりました。そして、企業広告の版下作成では「この短期間にここまで…！」という立派な広告を作成していただいた福岡社長にも驚きを感じました。

昨今の私達印刷関連業を取り巻く社会情勢は厳しさを増す一方の中での業務でしたが、今回のよ

うなお客様の要望に完全に答えることができたということは、私達の組合に一つ「得意技」が増えたということではないでしょうか。「仕事がない…」ということがついつい口癖になってしまっている私自身ですが、組合員各社が協力しあうことにより「仕事を生み出すことが可能だ！」ということが実感できました。

6月に実施しました組合共同事業第1弾「PTA広報誌勉強会」もまさに「仕事を生み出す」という私達組合の姿勢の表れだと思います。

私達、組合加盟各社は決して規模の大きな会社の集合体ではありません。ただ、各社それぞれ“一流”の得意技を持っています。この“一流”の得意技を集結させるとまだまだ私達ができることが世間には山ほどあるようです。

組合加盟各社がお互いを「Respect（リスペクト：尊敬すること。敬意を表すこと。価値を認めて心服すること。）」し、協力関係をより深めることが、新たな案件に挑戦する「切符」であり、その「切符」をもってたり着くところに「魅力的な組合」が待っているでしょう！

最後となりますが、「スポーツ祭東京2013」関連ではみなさんお疲れ様でした。そして「まちなび」と受注が組合共同事業の第3弾になるよう私自身微力ながら積極的に関わる所存です。

みなさん、
がんばりましょう！



ゆりーと

スポーツ祭東京2013

洋紙卸 国内有力製紙メーカー全商品取扱



紙なら豊富な在庫の

株式会社 **立川紙業**

Tel. 042(527)6111(代)

FAX 042(528)0080

〒190-0023 立川市柴崎町2-7-6

URL <http://www.kami.co.jp/>

配送センター / Tel. 042(560)2311



陸前高田市へ義援金を贈る

3月11日の東日本大地震から半年以上が経ちました。

当組合としては、5月に陸前高田市に10万円の義援金をお贈りしました。陸前高田市の市長は町田高校の出身者です。同時に、市P協の前会長の上野様が町高の同級生であったことから、そちらへお贈りしたことをご報告いたします。

■ 総務より

昨年4月の総会後より、月1回のペースで定例会を開催しています。その都度直面する課題を話し合い、決定してきました。定例会のお知らせは組合員全てにファックスしておりますので、一人でも多くの方へ出席していただき、忌憚のないご意見を発言していただきたいと思ひます。

納涼会

印刷組合納涼会が8月20日(土)に町田駅東口前の「刺身居酒屋かかし」で午後6時から多数の組合員・賛助会員が参加して行われました。

今回は、PTA広報誌講習会、2013年度に行われるスポーツ祭東京(国体)の総会資料(町田市実行委員会事務局)作成等、組合で携わった事業が無事に終了し、一段と酒量が増えた(アルコールだめ?人)ようです。沢山の料理を前にして次の組合事業、情報交換と盛り上がり、閉会時間をかなりオーバーして皆さんそれぞれ帰路に…。

お疲れさまでした。

■ 新会員ご紹介

株式会社サクシード
細野 克己

〒194-0013 町田市原町田5-5-15
メゾン原町田2F
TEL. 710-0264
FAX. 727-8027

ご挨拶

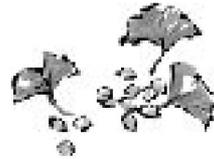
この度、町田市印刷工業組合に入会させていただきました。株式会社サクシードと申します。

主な事業内容は、ソフトウェア制作：ネットワーク構築：WEB・ECサイト構築：デザイン・壁画制作：アウトソーシング請負を行っております。

例えば、街頭で手に取りやすい紙媒体で用意しておき、その紙広告にWebサイトへのアドレスやQRコードを記載しておけば、興味を持った人がインターネットから簡単にアクセスできる。紙媒体からインターネットへ繋がるクロスメディア構造を用意しておくことで、紙媒体だけでは表現しきれない即時性や情報の広がりをもった情報が伝達可能になります。

このような、クロスメディアを構築することで印刷とインターネットの融合が町田市工業印刷組合の発展に繋がるよう、ご協力が出来ればと考えております。

今後とも宜しくお願い致します。



On Demand System
Office Automation
Printing Machine



★安心してご利用いただけるサービスを…をモットーに！
URL <http://www.aikoh-jp.com>

株式会社 アイコー
〒243-0025 神奈川県厚木市上落合 463-3
Tel.046(228)2255 / Fax.046(228)4401

株式会社 アイコー神奈川
〒221-0841 神奈川県横浜市神奈川区松本町 5-36-10
Tel. 045-323-3534 / Fax. 045-323-3524

コピー用紙・印刷用紙・画用紙・和紙・封筒・ダンボール etc.
紙のことならおまかせ下さい。



●穴開け、断裁、ミシンetc. 各種商品加工も承ります！

株式会社 紙藤原

〒158-0097 東京都世田谷区用賀1-27-22
TEL 03 (3700) 4411
<http://www.kamifujiwara.co.jp>

お気軽にお電話ください。



私の見た大連

14 生越 昭夫

歴史が好きで手軽に一度は行ってみたかった大連。中国の東北地方、旧満州国の入り口として、大連から北側に、ドイツとフランスを合わせた位の広さで、ロシアとの国境沿いに位置している。日本の関東軍が一部占領し満州開拓者として日本人がドンドン送り込まれた事は誰でも知っている話。ところがこの関東軍、日本の東京や神奈川などの兵隊さんを集めた軍隊かと思っていたら、満州国となる前は支那の関東州という地名だったと言うところからきていたらしい。



大連港 当時は今の半分

この満州は、日本では終戦後ソ連軍が攻めより捕虜になった者や、苦勞をして大連まで着き、日本の引き揚げ船に乗る人たち、それが大連港であった。大連港は真冬でも海が凍らないということでロシアに接収されたがその後の中ソ友好同盟で返還されたという。

当時何の変哲もない小さな港だったが、ここから岸壁の母で有名な京都の舞鶴港まで4日から10日ほどかけて着いたという。

ただ、ここには日本の70歳前後の男女の観光客がゾロゾロ来る、当時の子供の頃のつらい思い出を懐かしんでいるようである。

同じツアーの中にも女の人で父親が家族をそこまで連れて来て「今帰らないと帰れなくなるから一緒に帰れ！」という周りの声に、部下がいるからと引き返しそのまま帰らぬ人となったという。

■大和賓館

日本が満州国としていた時代、大連市の中心に日本が建てた大和ホテル。総大理石で、非常に重

圧感のある建物。歴代の日本の総理、中曽根康弘、村山富市、竹下登などがここで中国の高官と会っている。部屋は絨毯が敷かれた会議・会談室があり、村山総理が地元大分で作ったおみやげとして持っていった獅子の陶磁器が置いてあった。



大連の大和ホテル

村山総理のおみやげ▶



他に晩餐会のダンスホールや、二階にはラストエンペラー溥儀が幽閉されていたという部屋もそのまま残されていた。当時としては日本の帝国ホテルに並ぶすごいホテルだったと思う。今でも建物はドッシリしているが、周りが高層ビル群に囲まれ、窓も少なく、現在のビューホテルとは違い泊まる気はしない。ところが、ちょっと離れた旅順にも大和ホテルがあっ

た。全体は木造二階建、今はどう見てもホテルには見えないが、ここはWスパイではないかと言われた、かの有名な男装の麗人川島芳子が結婚式を挙げた所。二階のホールは床も壁も板張りで、昭和初期の懐かしい日本の役所といった感じだった。



旅順の大和ホテルのホール

■二〇三高地

旅順と言えば203高地、確かに山と言うほど高くなく、丘と言うほど低くない。旅行案内の写真等を見ると周りが木々に囲まれていて、その中心に日露戦争のとき日本が勝利し、乃木將軍が犠牲



203高地記念碑

になった日本兵の英霊を弔うために、砲弾型の鉄の記念碑を建てたと言う。考えてみれば100年前の話、当時は草木も生えない坊主山。360度の展望で旅順港をはじめ敵の艦隊が良く見えた事と思う。旅行のおもしろさは、その時、その人が、そこに居た、そこに自分も今居ると言うことか。